

GR86/BRZ Race

PROFESSIONAL Series

CLUBMAN Series **EXPERT** OPEN



DENSO

BRIDGESTONE



NEXEN NEXEN TIRE



TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 2020 REGULATIONS

2020年3月発行

トヨタカーズ・レース・アソシエーション(T.R.A.)事務局
〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町2113 103号室
TEL.045-507-4226 FAX.045-507-4225

TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race

2020
REGULATIONS



2020 RACE SCHEDULE [大会開催日程]

	開催日	開催サーキット	同時開催
第1戦	3/21(土)・22(日)	鈴鹿サーキット	スーパー耐久
第2戦	4/18(土)・19(日)	◎岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップ
第3戦	5/9(土)・10(日)	★富士スピードウェイ	富士チャンピオン
第4戦	6/20(土)・21(日)	◎★十勝スピードウェイ	北海道クラブマンカップ
第5戦	7/25(土)・26(日)	◎★スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップ
第6戦	8/29(土)・30(日)	◎★オートポリス	ゴールドカップ
第7戦	9/19(土)・20(日)	ツインリンクもてぎ	スーパー耐久
第8戦	10/17(土)・18(日)	◎★岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップ

◎印は、2ヒート制を開催。 ★印は、Netz Cup Vitz Race併催。

PRIZE [賞典]

2020 各大会賞金	順位	クラブマンシリーズ・エキスパートクラス	プロフェッショナルシリーズ
※1戦ごとに賞金を授与。	1位	100,000円	300,000円
	2位	50,000円	150,000円
	3位	30,000円	100,000円
	総額	180,000円	550,000円

2020 シリーズ賞金	順位	クラブマンシリーズ・エキスパートクラス	プロフェッショナルシリーズ
	1位	1,000,000円	3,000,000円
	2位	500,000円	1,500,000円
	3位	300,000円	800,000円
	4位	150,000円	400,000円
	5位	100,000円	200,000円
	6位	50,000円	100,000円
	総額	2,100,000円	6,000,000円

2020 各大会賞典 (クラブマンシリーズ)		
クラス	名称	対象者
エキスパート	ウイニングタイヤ賞	決勝レースで優勝したドライバー
	ルーキー賞	2019年1月以降に初めて国内Aライセンスを取得し、各大会の最上位入賞を果たしたドライバー
	ベストパフォーマンス賞	予選順位から決勝最終順位を最も上げたドライバー
オープン	I Love Cars!賞	決勝レースで優勝したドライバー
	ルーキー賞	2019年1月以降に初めて国内Aライセンスを取得し、各大会の最上位入賞を果たしたドライバー
	ベストパフォーマンス賞	予選順位から決勝最終順位を最も上げたドライバー
共通	ウェルカム賞	86/BRZRレースに初めて参加されたドライバー
	グッドトリップ賞	もっとも遠方から参加されたドライバー

2020 各大会賞典 (プロフェッショナルシリーズ)		
名称	対象者	
ウイニングタイヤ賞	決勝レースで優勝したドライバー	

86/BRZ Race	大会開催日程・賞典	2
CONTENTS	競技規定	3~12
目次	車両規定	13~19
	ポイントランキング	20~21
	開催サーキット案内	中央共通ページ
	TOYOTA GAZOO Racing 便覧	中央共通ページ

各規則の条文タイトルに[共通]表記のある条文は両シリーズ共通規則として、条文内にシリーズ名の表記がある条文は、それぞれのシリーズ規則として適用される。

競技規定 2020

第1条 大会 [共通]

「TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 2020」(以下、「86/BRZ Race」)は、国際自動車連盟(以下、「FIA」)の2020年国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した、2020年一般社団法人日本自動車連盟(以下、「JAF」)国内競技規則・国内競技車両規則およびその細則、トヨタカーズ・レース・アソシエーション(以下、「T. R. A.」)が発行する86/BRZ Race競技規定・車両規定、各大会特別規則書および各サーキット規定に従って開催される。

第2条 組織 [共通]

- 86/BRZ Raceは、T. R. A. の主管により運営される。各大会オーガナイザーはJAF公認のもと、シリーズ名称を付したレースを組織、開催する。大会組織委員会、競技会審査委員会、競技役員は各大会の特別規則書にて公示される。
- T. R. A. は、シリーズとしての統一性維持および各オーガナイザーの競技役員に協力する目的で「レースディレクター」「テクニカルディレクター」を各大会に派遣する場合がある。
 - レースディレクターは大会競技長と協議をしながら役務を遂行する。レースディレクターの役務は、大会期間中に発生した違反行為の判定に関して、シリーズを通した独自の判断に基づく提言を競技長に行い、大会における競技運営および判定基準の平準化を図るものとする。
 - テクニカルディレクターは大会競技長、レースディレクターおよび大会技術委員長と協議をしながら役務を遂行する。テクニカルディレクターの役務は、大会期間中に発生した車両規定の判定・解釈に関して、シリーズを通した独自の判断に基づく提言を技術委員長に行い、大会における競技運営および判定基準の平準化を図るものとする。
 - ただし、レース運営や判定に関する最終的な判断を下す権限を競技長および技術委員長に委譲する。

第3条 規則の熟知と遵守 [共通]

- 参加者はレースの諸規則ならびに当該大会別に定められた諸規則を熟知し、これを遵守すると共に、各大会オーガナイザーおよび競技役員の指示に従う義務を負うものとする。
- 参加者は秩序ある行動をとること。そして相互に、また競技役員を含む全ての関係者に対して攻撃的または侮辱的な言動をとる事は厳に慎まなければならない。暴言を発する行為や威嚇的な振る舞いを行い、この条項に違反した場合は訓戒から失格までの罰則が与えられる。

第4条 シリーズ構成 [共通]

- 「86/BRZ Race」は、下記のシリーズ(クラス)で構成される。
 - 「クラブマンシリーズ」(エキスパートクラス／オープンクラス)
 - 「プロフェッショナルシリーズ」クラブマンシリーズ エキスパートクラス／オープンクラスは、参加申込回数により、公式予選／決勝レースを混走で行う場合がある。ただし、その場合、各大会の公式通知にて詳細を公示する。
なお、シリーズに含まれない特別戦を開催する場合は、別途、詳細に関して公示する。
- T. R. A. 認定ドライバー
 - プロフェッショナルドライバー
以下の条件に該当しプロフェッショナル認定をされたドライバーは、クラブマンシリーズに参加することが出来ない。
 - ・全日本レース選手権相当のカテゴリーでの入賞者
 - ・海外トップカテゴリー(GP2、インディカーシリーズ等)の各選手権での入賞者
 - ・スーパーGT／スーパーフォーミュラもしくは同等カテゴリーへの参戦実績のあるドライバー
 - ・86/BRZ Race 2013／2014各シリーズおよび2015～2019プロフェッショナルシリーズの年間ランキングトップ10入賞者

・その経緯からプロフェッショナルドライバーとみなされるドライバー。ただし、上記に該当するが、最終入賞・参戦から10年を経過している場合、または2020年1月1日時点で満60歳以上のドライバーは対象から除外とする。

②エキスパードドライバー

以下の条件に該当しエキスパード認定をされたドライバーは、クラブマンシリーズ オープンクラスに参加することが出来ない。

・86/BRZ Race 2015～2018クラブマンシリーズおよび2019クラブマンシリーズ エキスパードクラス年間ランキングトップ10入賞者

③最終的なドライバー認定は、T. R. A. が行うこととする。

第5条 ドライバーの参加資格・装備品 [共通]

1. 参加資格

- ①T. R. A. レーシングパスポートに登録されたT. R. A. 認定ドライバー。
- ②日本の普通自動車以上の運転免許証、またはそれに相当する外国の免許証所有者。
- ③2020年に有効なJAF国内競技運転者許可証A以上の所持者。もしくはJAF以外のASN発給の同様ライセンス所持者。ただし、その場合は、FIA国際モータースポーツ競技規則に定められた海外レース出場申請が済んでいること。

2. 装備品

JAF国内競技車両規則第4編「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する細則」に従い、装備品を整えること。ただし、競技用ヘルメットについては四輪用のフルフェイスタイプの装着および耐火炎災アンダーウェアの着用を義務付ける。またクール・アンダーウェアを使用する場合は、FIA国際モータースポーツ競技規則附則L項に従い、着用すること。

第6条 参加車両 [共通]

参加車両は、T. R. A. レーシングパスポートに登録・記載されたもので、別掲の車両規定に合致したものでなければならない。

第7条 保険 [共通]

- 1. 各大会の大会特別規則書の規定に従うこと。
- 2. 各大会の大会特別規則書に規定が無い場合、ドライバーは900万円以上、チームクルーは400万円以上の有効な保険に加入していなければならない。

第8条 抗議権 [共通]

- 1. 抗議権は、競技参加者のみが有するものとする。
- 2. 抗議は、JAFが規定する抗議料を添えて、「JAF国内競技規則12 抗議」に定められる手続きにて行わなければならない。
- 3. 無根拠や邪意による抗議を行ったと判断された場合、抗議料の没収や罰則を課される場合がある。

第9条 罰則 [共通]

1. サーキットにおけるドライブ行為の規律

ドライバーはFIA国際モータースポーツ競技規則付則L項第4章「サーキットにおけるドライブ行為の規律」、当該大会に有効な安全規定およびそれに準ずる規定を遵守しなくてはならない。当該大会競技役員からの条項の違反行為と判断され、当該大会審査委員会より罰則（訓戒を含む）を科せられたドライバーは、T. R. A. により罰則内容が公示される。

①罰則内容が公示された1件ごとにT. R. A. が危険行為もしくは違反行為に該当すると判断した場合、下記ペナルティポイントが付与される。また罰則内容により、レースディレクターが必要と判断した場合、ペナルティポイントを加点し、付与される。

違反内容	主な事例	基準点数
旗信号無視(複数周回)	Dボード無視/複数周回の旗無視	2点
他車への衝突行為	他車を巻き込む行為	1～2点
旗信号無視	黄旗区間/SC中の追越・スピン等	1点
走路外追越	走路外からの追越行為	
安全確認不足	コース外から復帰時安全確認不足	

・累積ペナルティポイントは年度を跨いで累積されるが、最終ペナルティポイントが付与されてから1年間を経過すると全て削除される。

・当該シリーズ1大会参加後、新規ペナルティポイント0点の場合、1点減算される。(0点以下にはならない)

・事例が重複する場合は、ポイントが合算される場合がある。

②ペナルティポイントは参戦したシリーズ毎に加算・減算され、その累積点数(加算時のみ)により当該シリーズ次回参加時に下記表によりペナルティが科される。

	プロフェッショナルシリーズ	クラブマンシリーズ
累積点数	罰則内容	
4点	6グリッド降格 or 2ndタイムまで抹消	3グリッド降格 or 1stタイム抹消
5点	10グリッド降格 or 3rdタイムまで抹消	5グリッド降格 or 2ndタイムまで抹消
6点以上	厳罰(シリーズポイント剥奪／T.R.A.レーシングパスポート登録抹消等)	

・次回参加大会の参加台数判明後、ペナルティ内容(グリッド降格orタイム抹消)を決定し、公示。

2. 車両規定違反

ドライバーおよび参加者は86/BRZ Race車両規定、該当するJAF国内競技車両規則および当該サーキットの車両規定を遵守しなければならない。当該大会競技役員からの条項の違反行為と判断され、当該大会審査委員会より罰則（訓戒を含む）を科せられたドライバーは、T. R. A. により罰則内容が公示される。またT. R. A. が行う車両検査により、違反行為と判断した場合も罰則内容が公示される。罰則内容が公示された1件ごとにT. R. A. が違反行為に該当すると判断した場合、ドライバー、参加者、車両に対して、厳罰(シリーズポイント剥奪／T. R. A. レーシングパスポート登録抹消等)が科せられる。

第10条 T.R.A.管理スペース [共通] (次ページ図参照)

1. T.R.A.管理スペースの提供

参加者はT.R.A.および協賛各社、当該オーガナイザーの為に車両のT.R.A.管理スペースを提供しなければならない。

2. T.R.A.指定ステッカーの貼付

T. R. A. 指定ステッカーの貼付位置および角度は「T. R. A. 指定ステッカー位置」参照図の通りとし、その他のステッカー等の貼付は認められない。なお、T. R. A. 指定ステッカーの左右には十分な間隔を空けて貼付することとし、これに対する一切の加工は認められない。更にそれらの外観を毀損することも認められない。

3. 特定広告の拒否

参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否される場合があることをあらかじめ承認していなければならない。

第11条 ゼッケン番号 [共通] (次ページ図参照)

1. ゼッケン番号はT. R. A. レーシングパスポート申請に基づき、T. R. A. が決定する。ただし、T. R. A. により登録制限がされているゼッケン番号〔86〕等〕が存在する。また、ゼッケン番号は毎年更新されるものとし、前年度、使用ゼッケン番号の継続登録は、T. R. A. が定める優先登録期間内にT. R. A. レーシングパスポートの更新申請を行うこと。なお、期間内に更新されない場合や前年度レース未参加の場合、そのゼッケン番号の優先登録権利は失われる。

2. ゼッケンおよびゼッケンベースはT. R. A. 指定のものを使用し、「ゼッケンおよびゼッケンベース位置」参照図の通りの位置および角度で貼付しなくてはならず、その他の場所には貼付しないこと。また、すべての桁数においてゼッケンはゼッケンベース内の中央に配置すること。



3桁

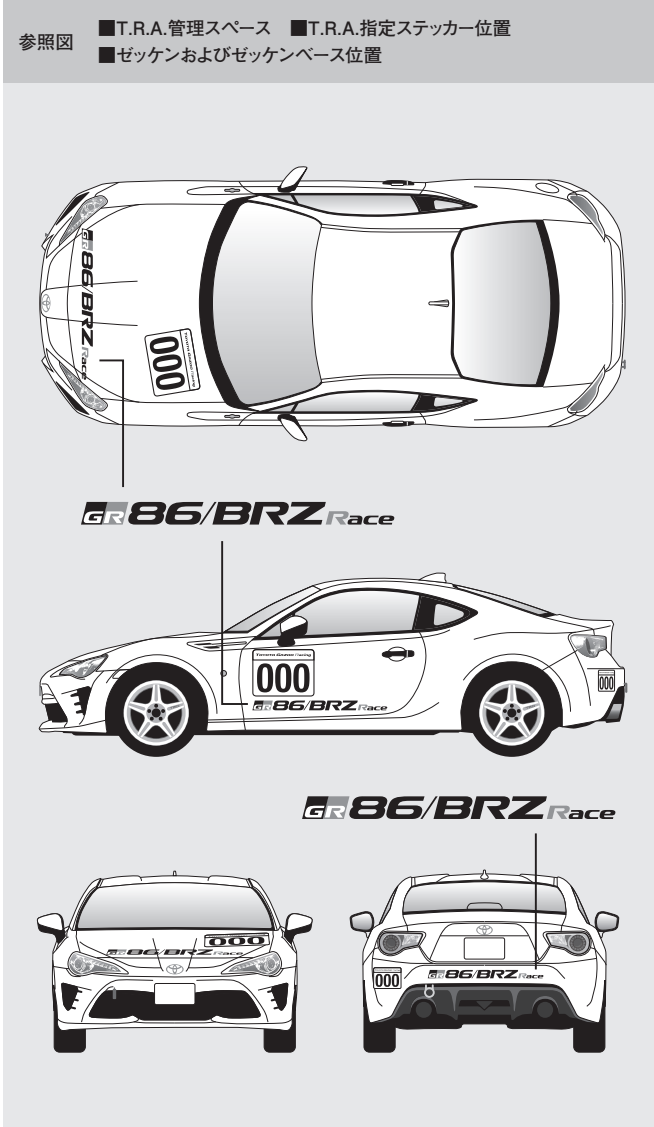


2桁



1桁

3. 新規および登録変更をした参加者に配布するゼッケンおよびゼッケンベースは原則として1セットまでとする。それ以上の枚数が必要となった場合、T. R. A. にその旨申し出を行い、必要と認められた場合に限り配布される。



第12条 T.R.A.レーシングパスポート [共通]

1. T.R.A.レーシングパスポートはT.R.A. 指定の方法で申請することにより、登録・発行される。
なお併せて、参加シリーズの登録申請を行い、T.R.A.の承認を得ること。
2. 参加者は、大会参加申込前までに、T.R.A.へ申請し登録を完了していること。
3. 参加する車両および封印エンジン、ドライバーはT.R.A.レーシングパスポートに記載されたものとする。
4. T.R.A.レーシングパスポートは、大会参加受付時に必ず提出しなければならない。返却は公道走行チェック時に行う。ただし、公道走行チェック不合格車両に関しては、返却はせず、その修理報告書が提出されるまで、T.R.A.により管理される。
5. 登録車両が、シリーズ各大会に初参加する場合は、「メンテナンスノート」、「車両保証書」およびT.R.A.レーシングパスポートに参加証明となる捺印を受けるものとする。
6. T.R.A.レーシングパスポートは毎年更新するものとし、T.R.A.が定める期間内に更新しなければならない。
7. 搭載する封印エンジンの変更、登録ドライバーの追加等が生じた場合、T.R.A. 指定の方法により変更申請を行うこと。ただし、更新には数日掛かることを考慮しておくこと。
8. 紛失した場合は速やかにその旨をT.R.A.に連絡し、再発行の手続きを受けること。ただし、更新および再発行には数日掛かることを考慮しておくこと。紛失した場合は、再発行の手数料を徴収する。

第13条 参加申込 [共通]

1. 参加申込方法
参加申込受付期間内に、T.R.A. 指定の方法で手続きを行う。
2. 参加申込時に記載する車名には必ずそれぞれの車種名である「86」、「BRZ」の文字が含まれていなければならない。
3. 大会特別規則書／参加申込の問い合わせ先
T.R.A. (トヨタカーズ・レース・アソシエーション)
〒224-0054 神奈川県横浜市中区佐江戸町2113 103号室
TEL:045-507-4226
4. 参加申込受付期間

大会	開催場所	受付開始日	受付締切日
第1戦	鈴鹿サーキット	2月11日(火)	2月19日(水)
第2戦	岡山国際サーキット	3月10日(火)	3月18日(水)
第3戦	富士スピードウェイ	3月31日(火)	4月 8日(水)
第4戦	十勝スピードウェイ	5月12日(火)	5月20日(水)
第5戦	スポーツランドSUGO	6月16日(火)	6月24日(水)
第6戦	オートボリス	7月21日(火)	7月29日(水)
第7戦	ツインリンクもてぎ	8月11日(火)	8月19日(水)
第8戦	岡山国際サーキット	9月 8日(火)	9月16日(水)

第14条 参加料

クラブマンシリーズ
¥40,000-(消費税別)／1大会 (全戦共通)
プロフェッショナルシリーズ
¥60,000-(消費税別)／1大会 (全戦共通)

第15条 各大会の開催場所・日程、
レース（ヒート）距離および決勝出走台数〔共通〕

大会	開催場所	大会期間	LAP	ヒート距離	ヒート制	最大決勝 出走台数
第1戦	鈴鹿サーキット	3月21～22日	8	46.456Km	1ヒート	44台
第2戦	岡山国際サーキット	4月18～19日	12	44.436Km	2ヒート	42台
第3戦	富士スピードウェイ	5月 9～10日	10	45.630Km	1ヒート	45台
第4戦	十勝スピードウェイ	6月20～21日	14	47.670Km	2ヒート	36台
第5戦	スポーツランドSUGO	7月25～26日	13	46.618Km	2ヒート	45台
第6戦	オートポリス	8月29～30日	10	46.740Km	2ヒート	46台
第7戦	ツインリンクもてぎ	9月19～20日	10	48.010Km	1ヒート	45台
第8戦	岡山国際サーキット	10月17～18日	12	44.436Km	2ヒート	42台

第16条 公式予選

クラブマンシリーズ

1. 組分け方法
- ①参加受付台数が、予選最大出走台数を超過した場合、各クラス別もしくはクラス混走による公式予選を実施する。
 - ②公式予選を2組以上に分けて行う場合、各クラスで組分けを行う。もしくは参加受理時点でのエントリーリストを基に、各クラスの前大会の決勝レースの結果（順位認定）を残した選手については、その結果の上位より、交互に組分けを行う。なお、決勝Bレース1位は、決勝レースの順位認定を受けた最終者の次順として扱う。それ以外の選手については、ゼッケン番号を基に、交互に組分けを行う。
 - ③シリーズ第1戦の場合は、各クラスのゼッケン番号を基に、交互に組分けを行う。
2. 組分けされた場合における決勝レースのスターティンググリッドの決定方法
- ①決勝レースのスターティンググリッドは、各クラス別に構成される。
 - ②各クラスの決勝グリッドは、クラスごとに各組予選1位のタイムを比較し、より早い組をポールポジションとし、交互に振り分けを行う。決勝グリッドが各組で均一に割り当てられない場合、最終グリッドは各組の予選タイムで1位と当該順位の予選タイムを比較しタイム差が少ないドライバーに与えられる。
 - ③当該大会の参加者に対しスケジュール・グリッド決定方法等詳細は、公式通知をもって公示する。

プロフェッショナルシリーズ

1. 組分け方法
- ①公式予選を2組以上に分けて行う場合、参加受理時点でのエントリーリストを基に、各シリーズの前大会に出場し決勝レースの結果（順位認定）を残した選手については、その結果の上位より、交互に組分けを行う。
 - ②シリーズ第1戦の場合は、ゼッケン番号を基に、交互に組分けを行う。
2. 組分けされた場合における決勝レースのスターティンググリッドの決定方法
- ①公式予選が組分けされた場合の決勝グリッドは、各組の予選1位のタイムを比較しより早い組をポールポジションとし、交互に振り分けを行う。決勝グリッドが各組で均一に割り当てられない場合、最終グリッドは各組の予選タイムで1位と当該順位の予選タイムを比較しタイム差が少ないドライバーに与えられる。

第17条 公式予選 通過基準タイム

共通

天候等による不可抗力の場合は、大会審査委員会の決定によるものとする。

クラブマンシリーズ

公式予選、クラスごとの各組上位3台のベストタイム平均値に130%を乗じたものを公式予選通過基準タイムとする。

プロフェッショナルシリーズ

公式予選各組上位3台のベストタイム平均値に110%を乗じたものを通過基準タイムとする。

第18条 決勝レース

共通

1. スタート方式はグリッドスタートとする。
2. 決勝レースを2ヒート制で開催する場合の運用方法
 - ①公式予選結果を基に、第1ヒートのグリッドを決定する。
 - ②第1ヒートの結果を基に、第2ヒートのグリッドを決定する。但し、グリッドは順位認定者へのみ付与される。順位認定されなかった場合は、結果表の順にビツスタートとする。
 - ③最終結果は、第1ヒートおよび第2ヒートの周回数を合算し、同一周回の場合は第2ヒートの結果に基づき順位を決定する。
3. 各大会において、最大決勝出走台数を上回る参加申込があった場合でも、決勝レースを分割しての開催は行わない。

クラブマンシリーズ

1. 決勝レースは、クラス別にグリッドを構成し実施するが、参加申込台数が最大決勝出走台数を下回った場合は、クラス混走にて決勝レースを実施する場合がある。その場合のグリッドは、エキスパートクラス／オープンクラスの順で構成される。
2. 各クラスの参加申込台数が最大決勝出走台数を上回った場合、決勝Bレースを開催する場合がある。但し、参加申込時点で、どちらか一方のクラスが最大決勝出走台数に達していない場合に限られる。この場合、最大決勝出走台数より参加申込台数を除いたグリッド数が、決勝Bレース対象者に割り振られ、クラス混走にて決勝を実施する。
 - ①決勝Bレース対象者は、公式予選結果により決勝レースのグリッドを割り振られなかった参加者とし、公式予選結果順に選抜される。公式予選を組分けして実施した場合は、各組の対象となる予選上位者のタイムを比較し、より早いタイムを記録した参加者がいる組より交互に選抜を行う。各組で均一に選抜できない場合、最終選抜者は各組の対象となる予選最上位者のタイムと比較しタイム差が少ないドライバーに与えられる。
 - ②上記により選抜された決勝Bレース対象者は、混走するクラスのグリッド最後尾より後方に、選抜された順にグリッドが割り振られる。2ヒート制開催時の第2ヒートのグリッドは、第1ヒートの結果を基にグリッドを構成するが、1ヒート制開催時同様に混走するクラスのグリッド最後尾より後方に配置される。
 - ③決勝Bレースの暫定表彰は実施せず、賞典／ポイントは付与しない。
3. 当該大会の参加者に対しスケジュール・グリッド決定方法等は公式通知をもって公示する。

第19条 無線機器〔共通〕

競技車両のドライバーとビツクルー・チームスタッフ間のトランシーバー・携帯電話等を含めた無線機器での通話は禁止される。

第20条 封印エンジンの修理禁止および交換申請〔共通〕

エンジンの封印を取り外して行う修理は認められない。また、エンジン本体を破損してしまった場合は封印済みのエンジン本体に交換しなくてはならない。その際はT.R.A.へ連絡をし、T.R.A.レーシングパスポートの更新やエンジン供給または交換の手続きを行わなくてはならない。

第21条 車両、エンジン交換等の禁止〔共通〕

当該大会期間中の下記作業は、いかなる場合も認められない。

1. 車両交換
2. エンジン交換
3. トランスミッション交換およびトランスミッションの脱着、本体の分解を伴う作業
4. ディファレンシャル交換およびディファレンシャルの脱着、本体の分解を伴う作業

第22条 ボデーの修復〔共通〕

1. 競技会参加によりボデーを破損し、T.R.A.より指摘を受けた場合は、次回参加時までに現状回復に努めなければならない。
2. ボデーの修復に関しては、トヨタ自動車（株）および（株）SUBARU発行の「ボデー修理書」に従い、ボデーの修復を行わなければならない。なお、ボデー交換による修復は認められない。

第23条 タイヤ [共通]

- 1. 公式予選、決勝を通じて使用できるタイヤは4本までに制限され、公式車両検査時に使用するタイヤにマーキングが施される。
- 2. プロフェッショナルシリーズ・クラブマンシリーズ エキスパートクラス参加者は、公式車両検査時にタイヤにマーキングを施されるまで、未使用の状態を保たなければならない。
- 3. 公式車両検査時に施されたタイヤのマーキングは、当該大会終了時まで保存しなければならない。なお、大会期間中、当該大会でマーキングされたタイヤの提示を求める場合があり、その場合は指示に従うこと。
- 4. 公式車検にてマーキングが施されたタイヤを交換することはできない。但し、バースト等、やむを得ない理由の場合のみ、交換申請を行うことができる。その場合、申請手順に従い、交換申請書を当該大会事務局に提出し、承認された場合のみ交換することができる。

クラブマンシリーズ オープンクラス

1本の交換申請の場合は、テクニカルディレクターおよび当該大会技術委員長の承認を得ること。2本以上の交換申請の場合は、テクニカルディレクターおよび当該大会技術委員長の承認を得た上で、最終的に当該大会審査委員会の承認を得ること。なお2本以上交換した場合、レースのスターティンググリッドはピットスタートとするが、複数の申請があった場合のピットスタート順は大会審査委員会の決定によるものとする。

プロフェッショナルシリーズ／クラブマンシリーズ エキスパートクラス

交換申請の場合は、テクニカルディレクターおよび当該大会技術委員長の承認を得た上で、最終的に当該大会審査委員会の承認を得ること。なお交換した場合、レースのスターティンググリッドはピットスタートとするが、複数の申請があった場合のピットスタート順は大会審査委員会の決定によるものとする。また交換後の成績によるポイントは付与されない。もしタイヤ交換を行った当該車両が「ファステストラップ」対象となった場合、次順を繰り上げてポイント付与対象者として選出するが、「順位ポイント」対象となった場合、対象者の繰り上げは行わない。

- 5. タイヤの裏組み（左右を逆に組み直す）は禁止され、タイヤマーキングは車両外側に向くようにすること。

第24条 燃料 [共通]

競技車両が大会参加時に使用する燃料は、JAF国内競技車両規則第3編第1章第8条「燃料」に従い、通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている（潤滑油以外のいかなる添加物も含まない）自動車用無鉛燃料（ガソリン）を使用すること。

第25条 エアバッグコンピューター [共通]

公式車両検査開始前までには、エアバッグコンピューターのコネクターを取り外しておくこと。また、競技中も常にその状態を維持しなければならない。なお、公道走行チェック時には必ずコネクターを接続しておくこと。

第26条 公式車両検査 [共通]

- 1. 公式車両検査に合格した車両は、いかなる改造（加工・交換・追加・変更）も認められない。また、使用や事故による摩耗や損傷した部品の交換（修復）は当該大会技術委員長の許可を受けた上で行う事とする。その際、当該車両は再車両検査により承認を得なければならない。
- 2. 公式車両検査を受けて以降、レース終了後の公道走行チェックを受けるまで、競技車両を当該サーキットの場外へ持ち出すことは認められない。また当該大会期間中にリタイヤした場合も、リタイヤ届けの受理後に特別に公道走行チェックを受けなければ場外への持ち出しは認められない。
- 3. 当該大会技術委員長は、決勝レース上位入賞車両に対し、最終車両検査として当該車両が装着したタイヤ（ホイールは含まない）の提出を求めることがある。当該検査の対象となった参加者は、その指示に従ってタイヤを提出しなければならない。これに対する抗議は認められない。なお、提出したタイヤは基本的に返還されないものとし、同一モデル・サイズもしくは同等の未使用新品タイヤが提供される。
- 4. 当該大会技術委員長が必要と判断した場合、当該車両に装着した部品の提出を求めることがある。その場合、指示に従って部品を提出しなければならない。これに従わない場合は、失格までの罰則が適用されることがある。提出された部品は基本的に返却されるが、一部の部品についてはT.R.A.より代替品を貸与・提供する場合がある。
- 5. T.R.A.が必要と判断した場合、当該車両に装着した部品の提出を求めることがある。その場合、指示に従って部品を提出しなければならない。これに従わない場合は、T.R.A.より厳しく罰せられることがある。提出された部品は基本的に返却されるが、一部の部品についてはT.R.A.より代替品を貸与・提供する場合がある。
- 6. オーガナイザーおよびT.R.A.は、最終車両検査および部品提出に伴う作業費用を一切、負担しない。

第27条 車両検査 [共通]

T.R.A.が必要と判断した場合、公式車両検査とは別に車両検査を行う場合があり、当該車両に装着された部品の提出を求めることがある。その場合、指示に従って部品を提出しなければならない。これに従わない場合は、T.R.A.より厳しく罰せられることがある。提出された部品は基本的に返却されるが、一部の部品についてはT.R.A.より代替品を貸与・提供する場合がある。また、T.R.A.は、部品提出に伴う作業費用を一切、負担しない。

第28条 車両保管 [共通]

競技車両は、予選・決勝終了後に当該大会競技役員もしくはT.R.A.により車両保管される場合がある。その際には、リベアエリア整備申請により技術委員長もしくはテクニカルディレクターが許可した場合以外は、車両保管解除前に保管場所から持ち出すことは認められない。

第29条 車両整備 [共通]

- 大会期間中に認められる車両整備は以下のとおりとする。
 - 1. エンジンオイル、トランスミッションオイル、デフオイルの点検補充、交換。
 - 2. ブレーキの点検、ブレーキフルード／クラッチフルードの点検補充および交換エア抜き作業。
 - 3. 冷却水の点検、クーラントまたは水の補充。
 - 4. バッテリー液量点検、蒸留水の補充。
 - 5. タイヤ、ホイール清掃。
 - 6. タイヤエア圧点検、調整。
 - 7. ホイール取り付け状態の点検、締め付け確認。
 - 8. ウォッシャー液量点検、ウォッシャー液または水の補充。
 - 9. ガソリン給油。
 - 10. 各種ステッカーの交換。
 - 11. 部品の取り外しを伴わないアライメント調整、車高調整。
 - 12. 上記項目以外で車両より部品の取外しを伴わない各部の清掃。
- ただし、リベアエリア整備申請により技術委員長もしくはテクニカルディレクターが許可した場合はこの限りではない。なお、リベアエリア整備申請の受付期限は各セッション終了後もしくは車両保管解除後1時間以内とし、作業を行う場合は、T.R.A.が指定するリベアエリアにて、T.R.A.スタッフ立ち合いのもと、作業を行うこととする。

第30条 公道走行チェック [共通]

- 1. 全ての参加車両に対して、一般公道における安全な運行が可能であることを確認する為の公道走行チェックが義務付けられる。
- 2. 公道走行チェックは、当該大会オーガナイザーが指定する時間・場所に於いて、大会競技役員立会のもと、T.R.A.が指定した検査員が実施する。各参加者は検査開始から60分以内にチェック準備を整え、待機エリアに車両を移動しなければならない。なお、車両破損等の影響により移動が出来ない場合は、T.R.A.スタッフに申請すること。
- 3. 検査項目・検査箇所は以下のとおりとする。

① 車体外板	⑤ 緩衝装置	⑨ 排気系
② かじ取り装置	⑥ 動力伝達装置	⑩ 灯火装置・方向指示器
③ 制動装置	⑦ 電気装置	⑪ 警告器・窓拭器・洗浄液噴射装置
④ 走行装置	⑧ 原動機	⑫ 競技走行において異常が認められた箇所

検査内容はJAF指定の「自動車登録番号標付車両によるレース終了後の車両検査票」に従う。ただし、下記検査内容を追加する。
 - ・エアバッグコンピューターのコネクター接続
 - ・最低地上高(9cm以上)
- 4. 検査の可否と処置
 - ① 公道走行チェックにおいて一般公道における運行に不適と判断された車両はT.R.A.が管理し、その指示に従い規定の場所までキャリアカーで移動しなければならない（キャリアカーの手配および費用は当該参加者負担）。規定の場所とは車両所有者または使用者の保管場所、もしくは自動車整備工場とする。
 - ② 検査において不具合箇所が指摘された車両は、当該箇所の修理・整備作業が完了して検査が分かる書面、資料、写真等が提示されないと、それ以降の本レースへの参加は受理されない。
- 5. 検査を受けなかった場合
 - 参加車両が本検査を受けなかった場合、その競技成績は抹消され、かつその参加者、ドライバーおよび車両のそれ以降の本レースへの参加は認められない。入賞した車両の競技成績が本項によって抹消された場合その車両の、後順位の車両の順位は繰り上げられない。

第31条 各大会賞典およびシリーズポイント [共通]

- 1.各大会賞典(決勝Bレースは除く)
①各シリーズ／クラスの大会賞典は下記の通りとする。
1～3位／トロフィー・JAFメダル
4～6位／トロフィー
②各大会の賞金、賞典は決勝出走台数により次のように制限される。
- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 3台 | 4台 | 5台 | 6～7台 | 8台以上 |
| 1位のみ | 2位まで | 3位まで | 4位まで | 6位まで |
- 2.シリーズポイント(クラブマンシリーズは各クラスで付与。決勝Bレースは除く)
①1大会1ヒート制開催時
- | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 |
| ポイント | 20 | 15 | 12 | 10 | 8 | 6 | 4 | 3 | 2 | 1 |

上記順位ポイントが、当該レース完走者へのみ付与される。
なお完走周回数はトップ車両の周回数の70%以上(少数点以下切り捨て)とする。
順位ポイントの他に、下記各大会ポイントが1ポイントずつ付与される。
・決勝レースグリッドボールポジション／決勝レースファステストラップ

- ②1大会2ヒート制開催時
- | | | | | | | | | | | |
|----------|----|-----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|
| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 |
| 第1ヒート終了時 | 10 | 7.5 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1.5 | 1 | 0.5 |
| 総合 | 20 | 15 | 12 | 10 | 8 | 6 | 4 | 3 | 2 | 1 |
- 上記順位ポイントは、当該レース第2ヒート完走を条件に付与される。
なお完走周回数はトップ車両の周回数の70%以上(少数点以下切り捨て)とする。
順位ポイントの他に、下記各大会ポイントが1ポイントずつ付与される。
・決勝レース(第1ヒート)グリッドボールポジション
・決勝レースファステストラップ(各ヒート)
(当該レース第2ヒート完走を条件に付与)

- ③各ポイントは、上記諸条件を含め、決勝レース(クラブマンシリーズは各クラス)の成立を以て付与される。また順位ポイントは、5台以上決勝出走・成立した場合はフルポイントが付与される。なお、シリーズポイント付与の最終決定は、T.R.A.が行うものとする。
- 3.不可抗力によるレース中止の場合の取扱い
- ①先頭車両が2周回を完了する前にレースが中止された場合レースは成立せず、各大会ポイントと賞典は与えられない。
- ②先頭車両が2周回以上を完了し、かつ走行距離がレース距離の75%未満でレースが中止された場合、レースは成立し各大会ポイントと賞典の半分が与えられる。
- ③先頭車両がレース距離の75%以上を完了した後にレースが中止された場合、レースは成立し、各大会ポイントと賞典は全て与えられる。
- ④上記は、2ヒート制開催時、ヒート毎に適用する場合がある。

4.シリーズポイントランキング

クラブマンシリーズ オープンクラス

最終シリーズランキングを決定する際、シリーズポイント集計は有効ポイント制とし、全8戦のうち、2ヒート制開催時のポイントを最大3戦分までとする。獲得ポイントの高い5戦分のポイントを合計するものとする。同ポイントの場合の順位は獲得ポイントが高い大会の多い順に決定される。それでも決まらない場合のシリーズポイントランキングの最終決定は、T.R.A.が行うものとする。

プロフェッショナルシリーズ／クラブマンシリーズ エキスパートクラス

最終シリーズランキングを決定する際、シリーズポイント集計は全戦ポイント制とする。同ポイントの場合の順位は獲得得点の回数の多い順に決定される。なお、獲得得点の回数が同一である場合は最終戦時のポイントで決定され、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時…のポイントによって決定する。なお、シリーズポイントランキングの最終決定は、T.R.A.が行うものとする。

第32条 本規定に記載されていない項目 [共通]

本規定に記載されていない全ての項目は、各大会の特別規則書および公式通知により示される。なお、本規定の変更や解釈は、T.R.A.ブルテンとしてT.R.A.より公示される。

車両規定 2020

車両 参加車両はTOYOTA 86「86Racing」(車両型式：ZN6―VPNT8*)およびSUBARU BRZ「RA Racing」(車両型式：ZC6*288)とし、TRDにより封印が施されたエンジン本体を搭載していること。ただし、プロフェッショナルシリーズ参加車両は、TOYOTA 86「86 Racing」およびSUBARU BRZ「RA Racing」のマイナーチェンジ後車両(ZN6―068001以降/ZC6―024001以降)に限定する。本レースは、2020年JAF国内競技車両規則第3編第7章「スピードB車両規定」に従った車両で行われ、本規定で定められていない項目については、同規則第5章「スピードSA車両規定」に従ってなくてはならない。また、道路運送車両の保安基準に適合した有効な自動車検査証を有し、競技中においても保安基準に合致する状態でなくてはならない。なお、乗車定員の変更は認められない。

※「*」は、A、B、C等の記号を表す。

定義 1.指定部品:T.R.A.より使用が義務付けられた部品。
指定部品以外の使用は、純正部品も含み認められない。

2.認定部品:T.R.A.より使用が認められた部品。
認定部品以外に純正部品の使用も認められる。

※T.R.A.が認めた(車両規定およびブルテンに記載されている)場合を除き、指定部品・認定部品に対する加工・変更等の改造は認められない。

表記例)
品番:TRD品番／STI品番(TRD品番／STI品名)

第1条 安全規定 [共通]

改造および付加物の取り付けなどにより当該大会技術委員長が安全でない車両と判断した場合、その指示に従わなければならない。

- 1.安全ベルト
- ①フルハーネスタイプかつ4点式以上のFIA公認安全ベルトの使用を義務付ける。
- ②ラベルに表示されている使用期限の過ぎたものやストラップ、構成部品等に異常があるものは使用してはならない。また、万一事故によりシートベルトに強い衝撃を受けた場合ストラップ、構成部品等の外観に異常が無くても使用してはならない。
- ③取り付けに関してはJAF国内競技車両規則第4編細則「ラリー競技およびスピード行事競技における安全ベルトに関する指導要綱」の条件を満たす事。
- ④4点式以上の安全ベルトは競技中以外の装着は許されない。したがって、それ以外の通常走行時は既設の安全ベルトを装着すること。
- 2.消火器
- 全ての車両に消火器の装着が推奨される。ただし、取り付ける場合はJAF国内競技車両規則第3編第1章第9条9.1.1に従う事。
- 3.ロールケージ
- T.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。なお、乗員保護の為に頭部等に接触する恐れのあるロールケージの部位は緩衝材で覆われていなくてはならない。
〔車台番号ZN6―084819／ZC6―030056以前の車両〕
品番:66510―ZN600／56000AS000(ロールケージASSY)
〔車台番号ZN6―089001／ZC6―032001以降の車両〕
品番:66510―ZN620／56000AS010(ロールケージASSY)
- 4.サーキットブレーカー
- 取り付けは認められない。
- 5.イグニッションスイッチ
- イグニッションスイッチはその位置が確認できるよう黄色で明示しなければならない。

6. 牽引用穴あきブラケット

T.R.A. 指定部品の使用が義務付けられる。ただし、一般公道では使用しないこと。

〔車台番号ZN6-061840以前／ZC6-021277以前の車両〕

品番:51960-ZN600／51960-ZN620／57800AS000

(牽引フック／フロント・リヤ共用)

〔車台番号ZN6-068001以降／ZC6-024001以降の車両〕

品番:51961-ZN610／57800AS010(シャフトFR)

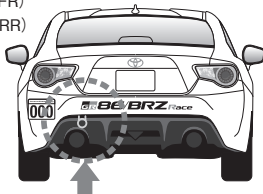
66311-ZN600／57800AS020(ストラップFR)

90178-TC000／57800AS030(ナットFR)

51960-ZN620／57800AS000(フックRR)

また、リヤ側の取付位置は車体左側とする。

(右図を参照)



第2条 改造規定 [共通]

1. 車両規定に定められていない項目は当初のままで、変更、取り外し、追加、使用方法の変更等、および加工等の改造は認められない。更に、当規定に定められていない性能の向上を目的としていると判断される部品の装着はその効果の有無を問わず一切許されない。また、車両規定により交換可能な部品は、国内で一般的に市販されているもの(カタログやエビデンス等の提示を求める場合有)とし、未発売品／試作品等の使用、部品に対する加工等の改造は認められない。
2. ただし、国内で販売されている同一車両型式車種用の純正部品を使用することは許される(輸出仕様車専用部品の使用は許されない)。ダイアグシステム(故障診断システム)において異常と判断される状態であってはならない。
3. マイナーチェンジ前後車両の部品はT.R.A.より使用許可の公示がない限り許されない。

第3条 エンジン・エンジン補機類 [共通]

1. エンジン本体
エンジン本体はTRDにより封印されたものを搭載してはならない。また、エンジン本体および封印に対する加工・変更等の改造は認められない。
2. エンジンマウント
T.R.A. 認定部品の使用が認められる。
品番:12311-ZN600／ST41022AS000(エンジンマウント RH／エンジンマウント F RH)
品番:12315-ZN600／ST41022AS010(エンジンマウント LH／エンジンマウント F LH)
品番:12371-ZN600／ST41020AS000(エンジンマウント RR／ミッションマウント)
3. フライホイール
加工・変更等の改造は認められない。
4. オイルポンプ
加工・変更等の改造は認められない。
5. オイルフィルター
変更は自由。ただし、取り付け位置の変更は認められない。
6. オイルフィルターキャップ
変更は自由。

第4条 電気系統 [共通]

電氣的に、諸装置を作動・調整する事ができる装置(ECU等全てのコンピューター類のコントローラーを含む)は当初から装着されているものおよび当規定で認められた物を除き装着は許されない。

1. バッテリー

- ① 寒冷地仕様車は、搭載バッテリーを標準車搭載バッテリー(取り付けステー、ターミナル端子含む)もしくは本体外寸が標準車仕様と同等のものに変更することは認められる。
 - ② その他の車両に関して、本体の変更は認められるが、本体外寸は当初のものと同等でなくてはならない。
- また、本体は取り付けステーにて確実に固定されていなくてはならず、搭載位置の変更、ボディーアース線の追加・加工・変更等の改造は認められない。

2. オルタネーター

加工・変更等の改造は認められない。

3. 点火系統

点火プラグの変更は認められない。また、イグニッションコイルは加工・変更等の改造は認められない。

4. セルモーター

加工・変更等の改造は認められない。

5. ECU

追加および加工・その他の変更等の改造は認められない。ソフトウェアはT.R.A.が指定したデータ以外は使用出来ない。

6. 配線

当規定で認められている部品を取り付ける為の最小限の加工以外は認められない。

第5条 吸排気系 [共通]

1. エアクリーター

〔車台番号ZN6-061840以前／ZC6-021277以前の車両〕

T.R.A. 認定部品の使用が認められる。

品番:MS155-00009-MS155-00012／ST16546ZA000

(スポーツエアフィルター／エアークリーナーエレメント)

〔車台番号ZN6-068001以降／ZC6-024001以降の車両〕

加工・変更等の改造は認められない。

2. 吸気・排気マニホールド

加工・変更等の改造は認められない。

3. マフラーおよび排気管

加工・変更等の改造は認められない。

4. 排出ガス

完全暖機運転後アイドリング状態にて、CO:1%・HC:300ppmを越えないこと。

第6条 冷却系統 [共通]

1. ラジエーター

ラジエーターキャップの変更以外は認められない。

2. サーモスタット

サーモスタットの変更および取り外し以外は認められない。

3. ラジエーターファンおよびファンスイッチ

加工・変更・追加等の改造は認められない。

4. ラジエーター配管

リザーバタンクの加工・変更等の改造およびホース類の変更等の改造は認められない。

ただし、水温計測を目的とした温度センサー取付のための最小限の加工は認められる。

5. オイルクーラー

加工・変更等の改造は認められない。

第7条 シャシー [共通]

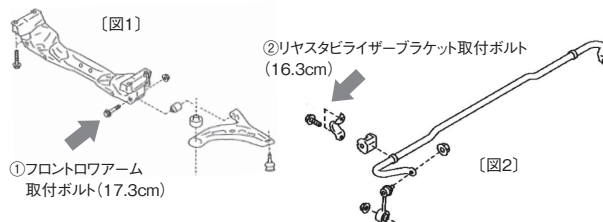
1. 最低地上高

ブレーキダクト装着状態で最低地上高9センチ以上を確保すること。

また、上記を満たした状態で以下の2点についても指定の地上高を確保すること。

① フロントロワーム取付ボルトの後端部中心部17.3cm以上〔図1〕

② リヤスタビライザーブラケット取付ボルトの後端部(下)中心部16.3cm以上〔図2〕



- 2.全長および全幅
変更は認められない。
- 3.最低重量
〔車台番号ZN6-061840以前／ZC6-021277以前の車両〕…1180Kg
〔車台番号ZN6-068001以降／ZC6-024001以降の車両〕…1190Kg
バラストの使用は認められない。
- 4.ラバーマウントおよびブッシュ
T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:48609-ZN600／ST2031055000
（フロントアッパーサポート／ストラットマウント F）
品番:48654-ZN600／20204ZR010
（ロワーアームブッシュNo1／ロアアームブッシュF SW）
品番:48655-ZN600／ST20204ZR000
（ロワーアームブッシュNo2／ロアアームブッシュF）
品番:48747-ZN600／ST20254ZR020
（リヤラテラルコントロールロッドブッシュ／ラテラルリンクブッシュ F）
品番:48725-ZN600／ST20254ZR040
（リヤアッパーアームブッシュNo1／リヤアッパーアームブッシュ F）
品番:48725-ZN620／ST20254ZR010
（リヤサスペンションアームブッシュNo1／トレーリングリンクブッシュ R）
品番:48725-ZN630／ST20254ZR030
（リヤサスペンションアームブッシュNo2／ラテラルリンクブッシュ R）
品番:48849-ZN600／ST20254ZR060
（リヤスタビライザーリンクブッシュ）
品番:52271-ZN600／ST20174AS000
（リヤサスペンションメンバーブッシュ／サブフレームブッシュ F）
品番:45516-ZN600／ST34112AS000
（ステアリングラックハウジングブッシュNo1／ステアリングギヤボックスブッシュ）
品番:41651-ZN600／ST41322AS000
（リヤディファレンシャルマウントクッションLH／デフブッシュ R LH）
品番:41651-ZN610／ST41322AS010
（リヤディファレンシャルマウントクッションRH／デフブッシュ R RH）

第8条 駆動系 [共通]

- 1.クラッチディスク・クラッチカバー
変更は自由。ただし、シングルタイプに限り、変更が認められる。また、クラッチホースについては、ボルトオンにて装着可能なものに限り変更が認められる。
- 2.トランスミッション
マイナーチェンジ前後車両部品の使用が認められる。それ以外の加工・変更等の改造は認められない。
- 3.変速レバー
ボルトオンで装着できるものに限り変更が認められる。
- 4.シフトノブ
変更は自由。ただし、シフトパターンは運転席から容易に識別できるように表示すること。
- 5.最終減速比
加工・変更等の改造は認められない。

第9条 ディファレンシャル [共通]

- T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:41301-ZN600(機械式2way L.S.D.)
品番:40107-ZN600(L.S.D.リベアキット)
品番:41308-ZN600(コンプレッションスプリング)
品番:41383-ZN600(スパーサンプレート)
その他の加工・変更等の改造は認められない。

第10条 制動装置 [共通]

- 1.キャリパー
加工・変更等の改造は認められない。
- 2.ローター
加工・変更等の改造は認められない。

- 3.パッド
変更は自由。
- 4.ホース
ボルトオンにて装着可能なものに限り変更が許される。
- 5.ダクト
T.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。
〔車台番号ZN6-061840以前／ZC6-021277以前の車両〕
品番:53299-ZN600／57750AS000(ブレーキダクトRH)
品番:53299-ZN610／57750AS010(ブレーキダクトLH)
〔車台番号ZN6-068001以降／ZC6-024001以降の車両〕
品番:53299-ZN640／57750AS020(ブレーキダクトRH)
品番:53299-ZN650／57750AS030(ブレーキダクトLH)
- 6.バックプレート
T.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。
品番:47781-ZN601／26290AS020(バックプレートRH)
品番:47782-ZN601／26290AS030(バックプレートLH)
- 7.ブレーキエアガイド(導風板)
T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:53207-ZN600(導風板)

第11条 サスペンション [共通]

- サスペンションおよびその取り付け部位の補強は認められない。また、片側キャンパー上限値を、フロント-2.0°／リヤ-3.0°とする。
- 1.スプリング
T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:MS250-18001／20300AS010(スプリングセット)
- 2.ショックアブソーバー
T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:MS260-18001／20300AS000(ショックアブソーバセット)
- 3.スタビライザー
加工・変更は認められない
- 4.アームおよびロッド類
T.R.A.認定部品のブッシュ変更は認めるがそれ以外の加工・変更等の改造は一切認められない。

第12条 タイヤおよびホイール [共通]

- 1.タイヤサイズ：205/55R16
- 2.使用するタイヤは、全て同銘柄(左右非対称パターンを含む同一トレッドパターン)とする。
- 3.タイヤおよびホイールはいかなる場合も他の部分と接触しないこと。
- 4.タイヤおよびホイールは車軸中心より前方30度・後方50度の範囲内でフェンダーから突出していないこと。
- 5.タイヤ中心より両側55mmの範囲内は常にタイヤ溝深さを1.6mm以上有すること。
- 6.通常走行時の摩耗以外のタイヤの加工(削り等)は禁止される。当該大会技術委員長により加工していると判断されるものは使用を認められない。
- 7.ウォームアップ、クールダウン、溶剤塗布等は認められない。
- 8.使用できるホイールは全て同一のものとし、サイズは「16インチ／7.0J(JJ) インセット48mm」とする。
- 9.ホイールはJWLまたはVIAマークのある軽合金製とする。
- 10.ホイールナットの材質および形状の変更は認められる。ただし、ホイールディスク面より突出しないこと。
- 11.ホイールスペーサーの使用は認められない。

第13条 タイヤ銘柄 [共通]

- 各シリーズで使用できるタイヤ銘柄は、T.R.A.に申請登録・承認をされたものとする。各タイヤメーカー1銘柄指定の為、表内タイヤメーカーの他銘柄は使用不可。他タイヤメーカー銘柄の追加承認、使用可能タイヤに変更があった場合は、改めてT.R.A.より公示する。使用可能タイヤに変更があった場合、それまで使用可能だったタイヤ銘柄の使用期限を、公示後、クラブマンシリーズは2戦、プロフェッショナルシリーズは1戦とし、それ以後の大会で使用することは出来ない。

使用可能タイヤ銘柄

クラブマンシリーズ	タイヤメーカー	ブランド	タイヤ銘柄	商品コード
	住友ゴム工業	DIREZZA	β02	338656
	日本グッドイヤー	EAGLE	RS SPORT S-SPEC	05608408
	ブリヂストン	POTENZA	RE-12D	PSR00790
	横浜ゴム	ADVAN	A052	R6121
プロフェッショナルシリーズ	タイヤメーカー	ブランド	タイヤ銘柄	商品コード
	住友ゴム工業	DIREZZA	β05	338657
	ネクセンタイヤ	N Fera	Sport R	17282NX
	ブリヂストン	POTENZA	RE-07D	PSR08086

第14条 車体 [共通]

- 自動車登録番号標
加工・変更等の改造は認められない。
- 空力装置
追加および加工・変更は認められないが、空力効果のみを機能として有する部品の取り外しは認められる。
- ボンネット
加工・変更等の改造は認められない。
- トランク
加工・変更等の改造は認められないが、トランクダンパーは取り外すか、オイルおよびガスを抜く事により作動しないようにしなければならない。
- バンパー
加工・変更等の改造は認められない。
- アウターミラー
加工・変更等の改造は認められない。
- フロントガラス
①純正品以外でも道路運送車両の保安基準に適合したものの使用を認める。
②保安基準に適合した保護フィルムの使用を認める。ただし、経年劣化等により保安基準を満たしていないと判断された場合は、使用することはできない。
- サイドおよびリヤガラス
塗装および色付フィルムの貼り付けや、ステッカーの貼り付けは許されない。
- ボデー補強
空洞への充填材注入（当初より充填されている部位を除く）も含み、一切の補強は認められない。
- タワーバー、ブレース
フロントストラットタワーバーを装着することが認められる。ただし、2点式でボルトオンにて装着可能なものに限られる。
- ドアスタビライザー
使用は認められない。
- 水／泥はねよけ
追加および加工・変更等の改造は認められない。
- エンジンアンダーカバー
追加および加工・変更等の改造は認められない。
- エンブレム
車面前後に取り付けられているエンブレムは、取り外し・加工等の改造および外観を毀損することは認められない。
- ヘッドランプ
バルブ交換（LEDおよび後付H.I.D.キット含む）および、これの取り付けに伴う最小限の加工のみ認められる。
- フログランプ
取付は認められない。
- グリル
加工・変更等の改造は認められない。
- テールランプ
加工・変更等の改造は認められない。
- 導通性シート
導通性能を有するフィルムやシート、ステッカー類の追加貼付は認められない。

第15条 車体内部 [共通]

- 内装
当規定で定められている部品の取り付けに伴う最小限の内装切除は認められる。それ以外の、当規定で定められていない車室内の全ての部品は切除および加工することは認められない。
- 防音材
加工・変更等の改造は認められない。
- ステアリングホイール
加工・変更等の改造は認められない。

- ベダルカバーおよびヒールプレート
装着する事が認められる。ただし、確実に取り付けれること。
- フットレスト・ニーレスト
装着する事が認められる。ただし、確実に取り付けれること。
- 座席
①運転席側シートおよび助手席側シートに限り変更が認められる。ただし、フルバケットシートの使用は運転席に限る。変更する場合はJAF国内競技車両規則第3編第5章9条9.4.9の規定と推奨条件を満たすこと。
②シート／シートレール／シートレールブラケット（サイドステー）は、組み合わせた状態で保安基準に適合していること。また大会期間中に求められた場合は、保安基準に適合していることを証明しなければならない。
- 障害者用操作装置
障害者用操作装置を装着する事が出来る。ただし、健常者の使用は認められない。
- ヒーター・エアコン
ヒーターおよびエアコンの取り外しは認められない。また、正常に機能してはならない。
- 補助メーター
使用が認められる。ただし、車両診断コネクタへの接続するものは使用が認められない。
- データロガー

クラブマンシリーズ

T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:08548—ZN600 (TRDスポーツドライブロガー)
品番:08548—18010 (スポーツドライブロガー)
品番:STPKG80AS100 (STISスポーツドライブロガー)
品番:83960—18010 (TOYOTA GAZOO Racing Recorder)
品番:STPKG80AS110 (STI Recorder)
その他については、電源を内蔵電池またはシガーライターソケットから取るGPSデータロガーの使用は認められる。なお、車両との結線は、電源目的以外は認められない。

プロフェッショナルシリーズ

プロフェッショナルシリーズ参加車両は、下記認定部品の使用を義務付ける。また、T.R.A.より指示があった場合、データロガーシステムのデータを提出しなければならない。
品番:83960—18010 (TOYOTA GAZOO Racing Recorder)
品番:STPKG80AS110 (STI Recorder)

- ラップタイム自動計測装置
ラップタイム計測を目的としたもので、電源を内蔵電池またはシガーライターソケットから取る物に限り取り付けを認める。なお、車両との結線は、電源目的以外は認められない。
- インナーミラー
加工・変更等の改造は認められない。
- フロアマット
専用フロアマットは、取り外さなくてはならない。
- ドライブレコーダー
プロフェッショナルシリーズ参加車両は、T.R.A.が指定・管理するドライブレコーダーを装着しなければならない。
- クール・アンダーウェア用冷却システム
クール・アンダーウェアを使用する場合、これに伴う冷却システムを搭載することが認められる。ただし、確実に取り付けれること。なお、車両との結線はシガーライターソケットから電源を取ることを目的としたもの以外は認められない。また、取付に伴うボディーへの加工も認められない。

第16条 アクセサリー部品 [共通]

JAF国内車両規則第4編細則に定められた「アクセサリ等の自動車部品」であっても、下記および当車両規定に定めるもの以外は、取り付け・取外し・変更は認められない。

- 取り付け・変更が可能な部品
コーナーセンサー、コーナープロテクター、ドアエッジプロテクター、ナンバーフレーム、サイドバイザー、スカッフプレート、警告器、空気清浄機、ナビゲーションシステム、音響／映像機器、盗難警報システム、ETC車載器
- 取外しが可能な部品
アンテナ

第17条 統一解釈 [共通]

本規定は道路運送車両の保安基準に適合し、出来る限り加工・変更等の改造の範囲を最小限に留めた車両で、平等な条件の下に一人でも多くの人が参加出来ることを目的として作成されたものであり、本規定の解釈に万一疑義が生じた場合は当該大会技術委員長の解釈をもって最終とする。

2019

プロフェッショナルシリーズ

シリーズランキング有効ポイント…全戦有効

順位	ドライバー	Rd.1 鈴鹿 32台	Rd.2 富士 34台	Rd.3 SUGO 24台	Rd.4 オートポリス 24台	Rd.5 富士 36台	Rd.6 十勝 23台	Rd.7 もてぎ 32台	Rd.8 岡山 39台	合計 ポイント
1	谷口 信輝	9	10.5	22.5	4	—	32	21	31	130
2	阪口 良平	3	12	32	0.5	4	11.5	15	22.5	100.5
3	堤 優威	12	19	3.5	16	12	12	0	18	92.5
4	近藤 翼	16	0	18	17	11	22.5	0	0	84.5
5	水谷 大介	4	11	4	8	21	0	0	11	59
6	佐々木 雅弘	—	1	—	22.5	0	9	12	10	54.5
7	蒲生 尚弥	—	5	—	31	1	3	4	1.5	45.5
8	菅波 冬梧	0	20	12	2	2	6	0	0	42
9	井口 卓人	0	0	0	8	15	12	0	0	35
10	服部 尚貴	0	27.5	5	0	0	0.5	0	0	33

クラブマンシリーズ エキスパートクラス

シリーズランキング有効ポイント…全戦有効

順位	ドライバー	Rd.1 鈴鹿 31台	Rd.2 富士 38台	Rd.3 SUGO 22台	Rd.4 オートポリス 20台	Rd.5 富士 40台	Rd.6 十勝 16台	Rd.7 もてぎ 30台	Rd.8 岡山 41台	合計 ポイント
1	橋本 洋平	—	30	17	31	20	15	12	12	137
2	水野 大	21	20	22.5	0	13	32	15	0	123.5
3	鶴賀 義幸	12	7	6	14	8	22.5	21	30	120.5
4	神谷 裕幸	16	19	2	20	10	13	4	—	84
5	大島 和也	0	5.5	16	15	0	13	3	23.5	76
6	岩本 佳之	10	14	10	7.5	4	—	11	9	65.5
7	松井 宏太	—	3	32	—	6	14	6	—	61
8	松沢 隆弘	8	8.5	3.5	—	16	—	8	0	44
9	花里 祐弥	6	11	11	—	0	—	0	1.5	29.5
10	宗藤 昌太郎	0	0	0	0	0	4.5	0	17	21.5

クラブマンシリーズ オープンクラス

シリーズランキング有効ポイント…全戦有効

順位	ドライバー	Rd.1 鈴鹿 38台	Rd.2 富士 51台	Rd.3 SUGO 24台	Rd.4 オートポリス 14台	Rd.5 富士 62台	Rd.6 十勝 10台	Rd.7 もてぎ 49台	Rd.8 岡山 42台	合計 ポイント
1	安藤 正明	2	31	33	7	10	—	22	15	120
2	志賀 俊方	15	11.5	19.5	—	16	24.5	6	9	101.5
3	今井 清則	2	1.5	0	21	21	31	0	0	76.5
4	湯川 祐太郎	20	19	2	19	3	—	8	2	73
5	岡田 整	13	20	8	—	0	—	12	4	57
6	佐藤 純一	—	14	21	—	6	—	2	—	43
7	窪口 綾	—	—	—	28.5	—	—	—	5	33.5
8	廣田 光一	—	9	8	—	1	—	15	—	33
9	青柳 クニシ	—	4.5	9.5	—	—	13	4	—	31
10	樋口 千樹	—	—	—	—	—	—	—	28.5	28.5

2018

プロフェッショナルシリーズ

シリーズランキング有効ポイント…全戦有効

順位	ドライバー	Rd.1 鈴鹿 34台	Rd.2 SUGO 30台	Rd.3 オートポリス 26台	Rd.4 岡山 35台	Rd.5 富士 40台	Rd.6 十勝 24台	Rd.7 十勝 24台	Rd.8 もてぎ 36台	Rd.9 鈴鹿 38台	合計 ポイント
1	谷口 信輝	10	12	21	12	8	8	20	1	10	92
2	近藤 翼	0	0	6	6	12	16	11	8	12	71
3	織戸 学	20	8	15	15	0	0	0	10	2	70

クラブマンシリーズ

シリーズランキング有効ポイント…上位5戦分

順位	ドライバー	Rd.1 鈴鹿 79台	Rd.2 SUGO 55台	Rd.3 オートポリス 41台	Rd.4 岡山 67台	Rd.5 富士 110台	Rd.6 十勝 28台	Rd.7 十勝 28台	Rd.8 もてぎ 72台	Rd.9 鈴鹿 88台	合計 ポイント	有効 ポイント
1	庄司 雄磨	0	11	22	16	23	16	21	16	13	138	98
2	神谷 裕幸	22	1	16	22	9	9	9	1	16	105	85
3	水谷 大介	17	16	6	7	13	13	12	21	1	106	80

2017

プロフェッショナルシリーズ

シリーズランキング有効ポイント…上位7戦分

順位	ドライバー	Rd.1 もてぎ 25台	Rd.2 オートポリス 26台	Rd.3 富士 35台	Rd.4 岡山 29台	Rd.5 十勝 26台	Rd.6 十勝 26台	Rd.7 富士 37台	Rd.8 SUGO 33台	Rd.9 鈴鹿 35台	Rd.10 富士 37台	合計 ポイント	有効 ポイント
1	近藤 翼	15	18	10	(6)	(0)	13	13	12	—	17	104	98
2	青木 孝行	12	31	(0)	(0)	1	10	4	16	—	20	94	94
3	佐々木 雅弘	22	23	(0)	21	(0)	15	0	3	天候不良 中止	0	84	84

クラブマンシリーズ

シリーズランキング有効ポイント…上位5戦分

順位	ドライバー	Rd.1 もてぎ 59台	Rd.2 オートポリス 36台	Rd.3 富士 90台	Rd.4 岡山 56台	Rd.5 十勝 27台	Rd.6 十勝 27台	Rd.7 富士 96台	Rd.8 SUGO 45台	Rd.9 鈴鹿 87台	Rd.10 富士 87台	合計 ポイント	有効 ポイント
1	神谷 裕幸	16	(13)	(3)	23	22	(14)	22	(3)	—	21	137	104
2	小野田 貴俊	21	17	(0)	(11)	16	(11)	17	(9)	天候不良 中止	13	115	84
3	菱井 将文	(11)	21	14	16	13	16	(0)	(0)	—	(2)	93	80

2016

プロフェッショナルシリーズ

シリーズランキング有効ポイント…上位6戦分

順位	ドライバー	Rd.1 もてぎ 36台	Rd.2 岡山 36台	Rd.3 SUGO 37台	Rd.4 富士 45台	Rd.6 富士 43台	Rd.5 十勝 29台	Rd.7 十勝 29台	Rd.8 鈴鹿 41台	合計 ポイント	有効 ポイント
1	佐々木 雅弘	(0)	13	21	12	21	9	30	(0)	106	106
2	井口 卓人	(0)	(0)	3	1	12	32	24	22	94	94
3	阪口 良平	(6)	20	13	10	7	15	12	(1)	84	77

クラブマンシリーズ

シリーズランキング有効ポイント…上位4戦分

順位	ドライバー	Rd.1 もてぎ 53台	Rd.2 岡山 36台	Rd.3 SUGO 41台	Rd.4 富士 79台	Rd.6 富士 81台	Rd.5 十勝 23台	Rd.7 十勝 23台	Rd.8 鈴鹿 74台	合計 ポイント	有効 ポイント
1	松原 裕史	22	(13)	(21)	(12)	22	22	(0)	22	134	88
2	手塚 祐弥	(13)	—	17	21	16	17	(13)	—	97	71
3	小野田 貴俊	17	17	(9)	16	(13)	(9)	(11)	16	108	66

2015

プロフェッショナルシリーズ

シリーズランキング有効ポイント…上位6戦分

順位	ドライバー	Rd.1 もてぎ 33台	Rd.2 岡山 34台	Rd.3 富士 31台	Rd.4 SUGO 30台	Rd.5 オートポリス 31台	Rd.6 十勝 28台	Rd.7 富士 43台	Rd.8 鈴鹿 43台	合計 ポイント	有効 ポイント
1	谷口 信輝	21	21	12	21	18	30	(10)	(0)	133	123
2	阪口 良平	16	12	9	15	15	16	(4)	1	88	83
3	近藤 翼	(0)	8	15	4	22	9	—	4	62	62

クラブマンシリーズ

シリーズランキング有効ポイント…上位4戦分

順位	ドライバー	Rd.1 もてぎ 37台	Rd.2 岡山 29台	Rd.3 富士 62台	Rd.4 SUGO 29台	Rd.5 オートポリス 13台	Rd.6 十勝 8台	Rd.7 富士 62台	Rd.8 鈴鹿 61台	合計 ポイント	有効 ポイント
1	逸藤 浩二	23	(11)	22	18	23	(13)	(7)	(13)	130	86
2	小野田 貴俊	(16)	22	(17)	21	(13)	23	(11)	17	140	83
3	橋本 洋平	(0)	(7)	13	13	16	16	(2)	(7)	74	58

2014

シリーズランキング有効ポイント…上位7戦分

順位	ドライバー	Rd.1 もてぎ 51台	Rd.2 SUGO 51台	Rd.3 富士 84台	Rd.4 富士 84台	Rd.5 十勝 25台	Rd.6 富士 90台	Rd.7 岡山 50台	Rd.8 富士 91台	Rd.9 オートポリス 42台	Rd.10 鈴鹿 85台	合計 ポイント	有効 ポイント
1	谷口 信輝	19	26	26	17	36	—	(0)	24	(2)	22	172	170
2	青木 孝行	14	14	17	(2)	(0)	24	2	12	26	—	111	109
3	織戸 学	—	—	8	24	—	—	—	19	32	14	97	97

2013

シリーズランキング有効ポイント…上位5戦分

順位	ドライバー	Rd.1 富士 82台	Rd.2 SUGO 54台	Rd.3 鈴鹿 70台	Rd.4 岡山 60台	Rd.5 十勝 30台	Rd.6 十勝 50台	Rd.7 もてぎ 92台	合計 ポイント	有効 ポイント
1	山野 直也	20	20	20	(15)	30	(0)	15	120	105
2	蒲生 尚弥	—	0	—	20	15	22.5	6	63.5	63.5
3	富澤 勝	15	—	(0)	0	18	12	10	55	55

開催サーキット

十勝インターナショナルスピードウェイ

北海道河西郡更別村字弘和477 TEL.0155-52-3910
【コース】クラブマンコース:1周3.40587km/コース幅13.5~15m
【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	1'34"809	青木 孝行	2018/8/19
	クラブマン EX	1'35"947	水野 大	2018/8/19
	クラブマン OP	1'38"691	今井 清則	2019/8/17
Vitz(NCP131)		1'44"230	赤堀 康裕	2019/10/6



スポーツランドSUGO

宮城県柴田郡村田町菅生6-1 TEL.0224-83-3111
【コース】フルコース:1周3.586km/コース幅10~12.5m
【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	1'38"975	阪口 良平	2019/5/18
	クラブマン EX	1'39"677	安藤 正明	2018/4/28
	クラブマン OP	1'41"516	安藤 正明	2019/5/18
Vitz(NCP131)		1'49"027	松原 怜史	2015/10/17



ツインリンクもてぎ

栃木県芳賀郡茂木町桧山120-1 TEL.0285-64-0001
【コース】フルコース:1周4.801km/コース幅12~15m
【コースレコード】

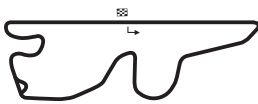
86/BRZ	プロフェッショナル	2'17"061	佐々木 雅弘	2017/4/1
	クラブマン EX	2'19"081	橋本 洋平	2017/4/1
	クラブマン OP	2'20"918	安藤 正明	2019/9/14
Vitz(NCP131)		2'32"331	北田 和哉	2015/4/12



富士スピードウェイ

静岡県駿東郡小山町中日向694 TEL.0550-78-1234
【コース】フルコース:1周4.563km/コース幅15~25m
【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	2'03"263	近藤 翼	2017/12/9
	クラブマン EX	2'04"720	松原 亮二	2017/12/9
	クラブマン OP	2'06"045	志賀 俊方	2019/4/20
Vitz(NCP131)		2'15"333	北田 和哉	2017/12/9



鈴鹿サーキット

三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL.059-378-1111
【コース】フルコース:1周5.807km/コース幅9.2~15m
【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	2'29"949	近藤 翼	2019/3/23
	クラブマン EX	2'31"452	水野 大	2019/3/23
	クラブマン OP	2'32"573	岡田 整	2019/3/23
Vitz(NCP131)		2'45"260	黒田 保男	2016/10/30



岡山国際サーキット

岡山県美作市滝宮1210 TEL.0868-74-3311
【コース】フルコース:1周3.703km/コース幅12~15m
【コースレコード】

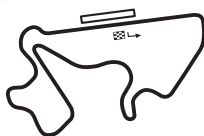
86/BRZ	プロフェッショナル	1'50"221	佐々木 雅弘	2018/6/23
	クラブマン EX	1'51"284	大島 和也	2019/10/20
	クラブマン OP	1'51"950	樋口 千樹	2019/10/20
Vitz(NCP131)		2'00"148	小倉 由浩	2017/4/23



オートボリスインターナショナルレーシングコース

大分県日田市上津江町上野田1112-8 TEL.0973-55-1111
【コース】フルコース:1周4.674km/コース幅12~15m
【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	2'11"637	青木 孝行	2017/5/7
	クラブマン EX	2'13"200	庄司 雄磨	2018/5/27
	クラブマン OP	2'15"232	安藤 正明	2019/6/16
Vitz(NCP131)		2'23"686	三浦 康司	2018/11/11



TOYOTA GAZOO Racing 便覧

シリーズ全体に関するお問い合わせ

■トヨタカーズ・レース・アソシエーション(T.R.A.)事務局
〒224-0054 神奈川県横浜市中区築区佐江戸町2113 103号室
TEL.045-507-4226 FAX.045-507-4225
E-mail : tra.info@tomsspirit.co.jp

TOYOTA GAZOO Racing 公式Webサイト

86/BRZ <https://toyotagazooracing.com/jp/86brz/>

Vitz <https://toyotagazooracing.com/jp/vitz/>

車両に関する技術的なお問い合わせ

■株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TEL.050-3161-2121 (TRDコールセンター)

モータースポーツ情報ホームページアドレス

TOYOTA GAZOO Racing <https://toyotagazooracing.com/jp/>
日本自動車連盟(JAF) <http://jaf-sports.jp>

JAFライセンス、JAF規定などについてのお問い合わせ

■日本自動車連盟(JAF)

モータースポーツ部	TEL.03-3578-4936
北海道本部 モータースポーツ係	TEL.011-857-7155
東北本部 モータースポーツ係	TEL.022-783-2820
関東本部 モータースポーツ係	TEL.03-6833-9140
中部本部 モータースポーツ係	TEL.052-872-3685
関西本部 モータースポーツ係	TEL.072-645-1300
中国本部 モータースポーツ係	TEL.082-272-9967
四国本部 モータースポーツ係	TEL.087-867-8411
九州本部 モータースポーツ係	TEL.092-841-7731

TOYOTA GAZOO Racing「86/BRZ Race」2020 REGULATIONS

2020年3月発行

トヨタカーズ・レース・アソシエーション(T.R.A.)事務局
〒224-0054 神奈川県横浜市中区築区佐江戸町2113 103号室 TEL.045-507-4226 FAX.045-507-4225



Driving experience

一流インストラクターのレクチャーによる、スポーツ走行技術을
磨きたい方のためのトレーニングプログラム。
競技参戦を目指す方にお奨めの本格的なレッスンです。

全国のサーキットで開催中!

開催場所	PROGRAM 2	PROGRAM 3	PROGRAM 4	お問い合わせ
阿讃サーキット	●			0883-79-3705
エビスサーキット	●			0243-24-2972
オートボリス	●	●		0973-54-5125
岡山国際サーキット	●	●	●	0868-74-3311
スポーツランドSUGO	●			0224-83-3790
タカスサーキット	●			0776-87-2330
ツインリンクもてぎ		●		0285-64-0200
筑波サーキット	●	●		0296-44-3146
十勝スピードウェイ	●			0155-52-3910
富士スピードウェイ	●	●	●	0550-78-1231

PROGRAM 2 : 初心者向けサーキット走行レッスン

PROGRAM 3 : 本格的なスポーツドライビングレッスン

PROGRAM 4 : レースに特化した参戦者向けレッスン

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<https://toyotagazooracing.com/jp/drivingexperience/>

